

# 情報通信の未来を見つめて



情報流通行政局情報流通振興課  
情報セキュリティ対策室主査

佐藤 浩行

Sato Hiroyuki

平成17年10月 総務省採用  
大臣官房秘書課  
平成19年7月 情報通信政策局総合政策課  
併任 通信・放送法制企画室  
平成20年7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課  
平成21年7月 情報通信国際戦略局参事官  
(通信・放送総合戦略担当)付  
平成22年7月 情報流通行政局放送政策課  
併任 情報通信国際戦略局情報通信政策課  
併任 情報通信国際戦略局参事官  
(通信・放送総合戦略担当)付  
平成23年7月 情報流通行政局地上放送課  
併任 情報流通行政局放送政策課  
平成23年10月 情報流通行政局情報通信利用促進課主査心得  
平成24年8月 現職

## ビッグデータ時代の情報通信政策

今、情報通信の分野では、SNS など個人が簡単に情報発信できるインターネットサービスが急速に普及・発達しており、例えば携帯電話の位置情報といったライフログなど多種多様な大量の情報、いわゆるビッグデータがインターネット上で流通する時代を迎えています。これによって、新ビジネスの創出、利便性の向上などが期待されている一方、利用者からは自分の情報についてプライバシーがきちんと守られているのかが不安を感じることがあるといった課題も生じています。

私の所属する情報セキュリティ対策室では、このようなビッグデータ時代において、安心・安全な ICT サービスの利用環境を確保しつつ、経済活性化や産業競争力の強化を推し進めることを目指しており、それに向けた取組みとして、インターネット上での個人情報の取扱いに関するルール作りの検討・企画を行っています。

## これまでで印象に残った業務

以前、放送政策の企画・立案を担当する部署に所属していたとき、放送のデジタル化や映像・音声サービスの高度化を背景として、通信・放送の制度を60年ぶりに大再編するというミッションに携わることができました。たくさんの法律の条文を改正する作業は大変なものでしたが、テレビやラジオ、インターネット放送などのサービスについて、将来の普及・発展の一助となる制度の見直しができることは、非常に印象に残った仕事です。

## 私の考える総務省の魅力

情報通信技術の進歩は非常に早く、“ドッグイヤー”ともよく言われます。また、その技術の進歩は、経済社会の活性化や国民生活の利便性向上に関して、大きな影響力を持っていると言えます。そのような情報通信の分野において、私がこれまで担当した業務も、どれも時代の変化に応じた又は将来のニーズを見据えた事業環境整備などであり、総務省の仕事は、将来への可能性、そして責任を感じられるという魅力があると思います。